

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

政策名	5 安全な港			24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)	責任者	総務部 危機管理室担当課長	
基本施策名	07 危機管理機能の強化						
個別施策名	22 保安対策を強化する			事務事業	成果	コスト	
事務事業名	03 制限区域への出入管理情報システムの導入			延伸	維持	維持	
連絡先	052-654-7813			連携先			
連携課	港営課、港湾管理事務所						
目的	出入管理の強化にあたり、セキュリティレベルの高い効率的な物流の確保を図ります。					事業期間	平成19~26年度
概要	国が進める国際港湾施設(コンテナターミナルを対象)への出入管理情報システムの導入に向けて、国、各港湾関係者及び利用者と情報を共有します。					根拠法令等	平成22年3月30日国土交通省告示第251号
						実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
平成25年度の実施予定	平成26年7月からのシステムの本格導入に向けて、システムの十分な試行運転を実施するとともに、導入を見据えた運用方法および使用料等諸条件の最終調整を行っていきます。					関連シート	

2 DO(実施)

平成25年度に実施した内容・結果	平成25年度は試行運転は実施しなかったが、引き続きシステム導入に向けて国及び関係者と調整を行いました。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績見込み)	合計	備考(款項目節等)
事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	(款項目節)
一般会計	千円	0	0	0	0	0	0	(算出計算式)
事業会計	千円							(その他)
その他	千円							
人員費計	千円	4,291	4,241	4,310	4,358	3,504	20,704	
正規職員	人	0.10	0.50	0.50	0.50	0.40		
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
合計	千円	4,291	4,241	4,310	4,358	3,504	20,704	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	最終目標	26	備考(指標の算定方法など)
出入管理システム導入に向けての情報の収集(回)	目標	4	5	10	12	12		5	国、中部地方整備局との会議等により情報を収集します。
	実績	7	8	23	17	10			
	達成率(単年度%)	175.0	160.0	230.0	141.7	83.3			
システムの改善率(%)	目標	100	100	100	100	100		100	カード認証速度は理論値の7~9秒を目標値として改善率を算出します。
	実績	-	-	69.0	100.0	100			
	達成率(単年度%)	-	-	69.0	100.0	100			
平成25年度までを総括した必要性・有効性・効率性の確認		判断理由(課題の抽出)							その他特記事項
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							現政策体系の5年間に於いて、公共コンテナターミナルの保安の強化と物流の効率化との両立を図るため、出入管理情報システムの導入は必要です。
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							現政策体系の5年間に於いて、公共コンテナターミナルに出入管理情報システムを設置することができ、カードの認証速度も目標値を達成することができたことから、システム導入の見直しをつけることができました。
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							現政策体系の5年間に於いて、適切な人員で対応しました。
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			国が義務付ける三点確認(本人・所属・目的)を確実に実施するため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
平成26年度は、出入管理情報システムの本格運用を見据え、レーン運用の検証やシャーシドライバーがシステムを円滑に利用できるような習熟度を高めるため、実際の運用方法で試行運転を行うとともに、利用者調整及び使用料等の諸条件を踏まえ決定してまいります				